

現場代理人の常駐義務の緩和措置の拡大について（お知らせ）

工事請負契約約款（以下「約款」といいます。）第11条第2項ただし書に規定している現場代理人の常駐義務の緩和措置については、平成19年3月30日付のお知らせにより取り扱っているところです。このたび、この緩和措置を拡大し、現場代理人を兼任することができる要件等を次のとおり見直しましたのでお知らせします。

1 現場代理人を兼任することができる要件について

(1) 全ての契約方式（一般競争入札、指名競争入札及び随意契約）共通

本市と締結した複数の工事請負契約において、工事監督課が同一であり、かつ、監督員と常に携帯電話等により連絡をとれる体制が確保されている場合で、次のア又はイに該当するとき、現場代理人を同一人が兼任することができます。

ア それぞれの予定価格（税込）が 2,500 万円（建築の場合は 5,000 万円）未満の 2 件の工事請負契約

イ 次のいずれかの要件を満たす 3 件の工事請負契約

(ア) 3 件の工事請負契約に建築の工事請負契約を含まない場合
予定価格（税込）の合計が 2,500 万円未満であること

(イ) 3 件の工事請負契約に建築の工事請負契約を含む場合
予定価格（税込）の合計が 5,000 万円未満であること

ただし、3 件の中に、建築以外の工事請負契約を含む場合には、建築以外の工事請負契約の予定価格（税込）の合計が 2,500 万円未満であること

ただし、ア又はイいずれにおいても、工事現場への出勤体制について制限を設けている、緊急性がある等の理由から、現場説明書に記載されている 2 (1) ア(イ)の文言に「できません。」にチェックがされている工事請負契約、及び、設計変更等に伴う契約変更により請負代金額（税込）が 2,500 万円（建築の場合は 5,000 万円）以上となった工事請負契約についてはこの限りではありません。

(2) 継続工事、追加工事等

既に本市が締結している工事請負契約（以下「既契約」といいます。）の請負人と、新たに随意契約により締結する工事請負契約において、現場説明書に 2 (1) イの文言に記載されている場合、既契約の現場代理人と同一人が、当該工事請負契約の現場代理人を兼任することができます。

なお、(1)又は(2)により複数の工事請負契約の現場代理人を同一人が兼任した場合でも、当該現場代理人は 3 (1)から(4)までに掲げる期間を除き、いずれかの工事現場に常駐しなければなりません。また、継続工事、追加工事又は合併入札に係る複数の工事請負契約は 1 件とみなし、予定価格（税込）又は請負代金額（税込）は合計で判断します。

2 現場代理人の兼任に関する手続

(1) 入札参加（見積書提出）前の確認

ア 全ての契約方式（一般競争入札、指名競争入札及び随意契約）共通

予定価格（税込）2,500万円（建築の場合は5,000万円）未満の工事請負契約については、現場説明書に次の事項が記載されていますので、入札参加（見積書提出）前に必ず1(1)の要件に該当するかを確認してください。

1 工事監督課

（※あらかじめ工事監督課が記載されています。）

2 本件は、本件と工事監督課が同一であり、かつ、監督員と常に携帯電話等により連絡をとれる体制が確保されている次のいずれかの工事請負契約と約款第11条第2項ただし書の規定に基づき現場代理人を同一人が兼任することが（できます。／できません。）

（※あらかじめ「できます。／できません。」のいずれかにチェックされています。）

(1) 予定価格（税込）2,500万円（建築の場合は5,000万円）未満の他の1件の工事請負契約

(2) 次の要件を満たす他の2件の工事請負契約

ア 本件を含めた3件の工事請負契約に建築の工事請負契約を含まない場合で、予定価格（税込）の合計が2,500万円未満であるとき

イ 本件を含めた3件の工事請負契約に建築の工事請負契約を含む場合で、予定価格（税込）の合計が5,000万円未満であるとき（ただし、3件の中に、建築以外の工事請負契約を含む場合には、建築以外の工事請負契約の予定価格（税込）の合計が2,500万円未満であること）

ただし、本件の請負代金額（税込）が設計変更等に伴う契約変更により2,500万円（建築の場合は5,000万円）以上となった場合は、この限りではありません。

なお、継続工事、追加工事又は合併入札に係る複数の工事請負契約は1件とみなし、予定価格（税込）又は請負代金額（税込）は合計により判断します。

イ 継続工事、追加工事等

1(2)に該当する場合には、現場説明書に次の事項が記載されていますので、見積書提出前に必ず確認してください。

本件の現場代理人は、他の記載にかかわらず（※あらかじめ兼任可能な工事名が記載されています。）工事に係る請負契約の現場代理人と同一人が兼任することができます。

(2) 工事請負契約締結後

現場代理人を兼任する場合には、現場代理人等選定通知書に、他の工事請負契約の工事名を必ず記載してください。

なお、兼任する工事名を記載しない、実際とは異なる工事名を記載する等現場代理人等選定通知書の記載に虚偽が判明した場合には、監督員指示書により是正を図る（以下「是正指示」といいます。）とともに、工事成績評定（Ⅰ施工体制・Ⅱ配置技術者）に反映させることがありますのでご注意ください。また、是正指示を行ったにもかかわらず、代わりの現場代理人の配置ができない等の理由から速やかに是正がされなかった場合は、一般競争参加停止及び指名停止措置や工事請負契約の解除、工事成績評定（Ⅰ施工体制・Ⅱ配置技術者）への更なる反映等の必要な措置を行うことがありますので、注意してください。

3 現場代理人の工事現場への常駐を必ずしも要しない期間について

本市と締結した工事請負契約では、次の(1)から(4)までに掲げるいずれかの期間中である場合、監督員と常に携帯電話等により連絡をとれる体制が確保されているときは、現場代理人は工事現場に常駐することを必ずしも要しません。

- (1) 工事請負契約を締結した日から実際に現場に着手する日（工事着手届書を受理した日ではなく、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事のいずれかが開始される日）の前日までの期間
- (2) 約款第21条の規定に基づき工事の全部の施行を一時中止している期間（詳細については「工事の一時中止に係るガイドライン」を確認してください。）
- (3) 橋梁、ポンプ、ゲート又はエレベーター等の工場製作を含む工事請負契約であって、工場製作のみが行われている期間
- (4) 工事完成届が提出された日から工事完成検査が完了するまでの期間

なお、これらの期間は現場代理人が工事現場に常駐することを必ずしも要しない期間であって、他の工事請負契約の現場代理人を兼任することができる要件ではないことに留意してください。また、詳細な手続については財政局公共施設・事業調整課にお問い合わせください。

4 適用開始

平成25年4月1日以降に行われた契約の申込みの誘引（公告、指名通知又は見積依頼）に係る工事請負契約について適用します。

なお、1の「現場代理人を兼任することができる要件」について、平成25年4月1日以前に行われた契約の申込みの誘引に係る工事請負契約のうち、約款11条2項ただし書の規定に「該当しない」旨の記載が現場説明書にあるものは、このお知らせの適用対象となりません。また、現場説明書に約款11条2項ただし書の規定に「該当する」旨の記載があるものは、このお知らせの適用対象となります。

財政局契約第一課工事契約係

電話：671-2246

財政局公共施設・事業調整課

電話：671-2025